

平成 2 6 年度日光市指定管理施設の評価結果

【評価レベル】

評価の目安		評価ランク	内 容
↑ ↓	良い	A	優れていると認められる。
		B	やや優れていると認められる。
	普通	C	適正であると認められる。
		D	努力が必要であると認められる。
		適切でない	E

※評価ランクについては、利用者満足度や経費低減、収入増加などの項目をもとに、決定しております。

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
今 市 地 域	1	J R 今市駅市営自転車駐車場	株式会社 近代ビル管理社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・誰もが利用しやすく、利便性と安全性を両立した快適な環境づくりを維持しているという点で評価は「適正」であるといえる。 ・また、以前から調査結果の満足度がやや低かった安全面についても、可能な限り 1 名の係員を出入り口に配置し、その都度対応することにより、より一層安全性も確保されているため評価できる。 ・駅隣接の自転車駐車場等という性質上、設置目的等を達成するだけでは収入の増加は見込めず、必要最低限の運営コストで、その目的を如何に達成するかという点が課題である。収支の改善を考えると更なる利用率アップのための方策が必要である。 【改善に向けた方策】 ・利用率アップの 1 つの方策としては、サービスの質の向上が挙げられる。現状に満足せず、学生や高齢者の自転車の出し入れの際の手伝い等に対しては更に積極的に行動したり、周辺のゴミ拾いの頻度を上げるなど利用者が再利用しやすい環境づくりに更に力を入れる。 ・駐車場内における長期放置自転車等に関し、当課と担当者との連携が取れていない事案があったため、指導する際には、担当者と現場就業者に併せて指導するとともに、担当者とは一層連絡を密にする等、情報や改善策の共有化を図っていく。	市民生活部 生活安全課
	2	温泉保養センター「かたくりの湯」	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・温泉ポンプ修繕に伴うトラブル発生のため、当初の予定よりも休刊日を延長することとなり入場者数が減少したが、営業再開時に優待券を配布する等の対応を行ったこともあり、営業再開の翌月には利用者数が例年の水準にまで回復した。 ・前年の課題であった利用者アンケートの回答者数は増加しており、再利用希望率や職員の接客等に対する評価も上昇している。今後もアンケート回収率を上げ、多くの利用者の声を聴くことでより良い施設運営ができるよう心掛けてもらいたい。 ・苦情等のトラブル対応に関しては改善の余地が見受けられるので、公の施設を管理する立場として、迅速かつ公平・公正な対応をお願いしたい。 【改善に向けた方策】 ・利用者の満足度や再利用希望率は上昇傾向にある。今後はリピーターの獲得だけでなく、新規の利用者を呼び込むための取組を行うよう指導する。	観光部 観光交流課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
今 市 地 域	3	市民活動支援センター	特定非営利活動法人 おおきな木	22. 4. 1～ 28. 9. 30			○			・会議室の利用、一般来場者が増えている。広報、情報提供の仕方に工夫（facebook、Twitterの利活用、館内の掲示・レイアウトを随時更新）をするなど、センターの認知度は年々上昇している。 ・スタッフの資質の向上やスタッフ間での情報の共有等が、研修・ミーティングを通じて図られており、おおむね適正に管理運営されていると判断できる。 ・年々増加するNP0法人設立に関する相談受付や協働によるボランティア活動及び地域のリーダーとなる人材の育成活動について、今後、より柔軟でわかりやすい具体的な事例を用いた対応を期待する。 【改善に向けた方策】 ・協働や地域リーダー人材育成活動を推進するために、自主事業・講座の開設等を積極的に進めるよう助言する。 ・有料講座の開設やイベント事業の開催等、自主財源の確保につながる事業等も検討するよう助言する。	企画部 地域振興課
	4	生きがいセンター	公益社団法人 日光市シルバー人材センター	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			・適正に運営をされている。 【改善に向けた方策】 ・今後も施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めるよう指導する。	健康福祉部 高齢福祉課
	5	今市宿市縁ひろば	一般社団法人 日光市観光協会	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			・当該施設は、利用者が郷土の歴史・文化・産業にふれることを目的としており、日光市にちなんだ多種多様な事業を実施することが望まれる。 ・今年度は、今市地域の入込客数及び食堂施設の利用者数が前年度よりも増加したにも関わらず、市縁ひろばの利用者数が前年度に比べ減少してしまった。今後も利用目的にちなんだ事業を今まで以上に積極的に実施してもらい、入込客数が増加するよう努めてもらいたい。 【改善に向けた方策】 ・イベント等の宣伝周知や情報提供が不足しているので、今後はより積極的に宣伝活動を実施するよう指導する。 ・利用者アンケートの回収率を上げるだけでなく、アンケート結果を分析し誘客につなげてもらうよう助言を行う。	観光部 観光交流課
	6	農村環境改善センター 大室ダム	日光市土地改良区	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			・再利用を希望する団体等も多いため満足度は得られていると思われるが、年間利用者数は近年減少傾向にあるため、より満足度を高められるよう努めていただきたい。 ・昨年度よりもトイレの清掃及び公園内の巡回を多く実施しており、利用者満足度の向上に努めている。 ・動物防除ネットについては維持管理が不十分な箇所もみられるので、適切な管理をお願いしたい。 ・大室ダムは、農業用ため池として重要な枠割を担う施設であるため、更なる管理体制強化に努めていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・アンケート調査等を実施することで、利用者の満足後、要望等をより明確に把握し、満足度、安全性の向上に努めるよう指導する。 ・動物防除ネットについては、小さな破損を随時補修することで、動物が公園内に入り込めるような大きな破損箇所の発生を防ぐことができるため、適切な管理方法を指導する。	産業環境部 農林課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
今 市 地 域	7	小百川桜公園	公益社団法人 日光市シルバー人材センター	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・施設の維持管理は適正に管理されていた。 ・利用者の意見を積極的に聴取し、利用者が安心安全で快適な利用が行える施設運営を図ってほしい。 【改善に向けた方策】 ・利用者数は前年比で増加しているが、今後は利用者呼び込むだけでなく、収入につながるようなイベント等の実施を検討するよう助言を行う。	観光部 観光交流課
	8	都市公園 ①今市中央公園 ②平ヶ崎公園 ③ひばり公園 ④あきの空公園 ⑤杉の木公園 ⑥春日町公園 ⑦原町公園 ⑧大桑杉並木観賞公園 ⑨轟工業団地第一公園 ⑩轟工業団地第二公園 ⑪轟工業団地緑地 ⑫大谷川グリーンパーク ⑬杉並木公園 ⑭おおるり公園 ⑮かたくりの湯公園 ⑯森友ポケットパーク ⑰住吉町ポケットパーク ⑱市役所入り口ポケットパーク ⑲あかほり公園 ⑳土橋公園 ㉑地蔵下公園	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・概ね事業計画のとおり業務が遂行されており、利用者からの要望等に対する対応の早さについても評価できる。 【改善に向けた方策】 ・利用者アンケートを実施し、利用者の要望収集を図るよう指導する。	建設部 維持管理課
	9	運動公園 ①今市運動公園 ②丸山公園 ③落合運動公園 ④豊岡運動公園 ⑤塩野室運動公園	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・施設の改修工事により全体の利用件数が減少したものの、概ね適正な管理運営が実施され、設置目的である市民のスポーツの振興と健康の保持増進に貢献している。 【改善に向けた方策】 ・東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、ますますスポーツに対する意識が高まり、今後も施設の利用者が増大することが予想されることから、より一層の安全性の確保と快適な利用環境を提供できるよう指導する。	教育委員会 スポーツ振興課
	10	杉並木公園ギャラリー	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31		○				・利用件数、稼働率とも高水準であり、また、利用者のニーズの把握や要望に対する対応を迅速に行いつつ、市との協議も頻繁に実施している。 ・そうした点が高い満足度につながっていると認められ、施設の設置目的の達成に関する取り組みは充分になされている。 【改善に向けた方策】 ・来場者数（入場・見学者数）増加のため、催事内容の周知や広報を充実し、新規利用者の増加につながる取り組みを行うとともに、利用者のみならず来場者や市内の文化関係団体への情報提供なども積極的に推進するよう助言する。	教育委員会 生涯学習課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
今 市 地 域	11	今市文化会館	株式会社 ケイミックス	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・文化事業については計画どおりの回数が実施され、入場者数も目標値を達成している。 ・利用者の満足度は良好で、特にトラブルも無く安定した運営を行っている。 ・光熱水費・燃料費については使用料の削減を図っており、経費削減に努めている。 ・施設管理については各設備の計画的な保守点検が実施され、また限られた予算の中のできる限りの修繕が実施されており、ホールの運営に支障を来たさぬよう配慮されている。 【改善に向けた方策】 ・施設利用者数、稼働率及び使用料収入についていずれも目標を下回っており、利用者を増やすためにより一層のPR等の取組を行うよう指導する。 ・文化事業の入場者数は目標を達成したが、入場料収入が目標を大きく下回っているため、入場者数を維持しつつ入場料収入の増加を図れるよう、地域のニーズに沿った魅力ある公演の開催と最適な料金設定を検討するよう指導する。	教育委員会 中央公民館
	12	今市図書館 日光図書館 藤原図書館	株式会社 図書館流通センター・株式会社 近代ビル管理社共同事業体	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			・開館日（時間）の増加、集客事業の増加、司書率の向上等を実現したが、利用者は昨年よりも減少した。 ・図書の貸出上限の増加や、在架予約の開始により利便性が高まった。指定管理者の努力を評価する。 ・図書館事業は、3館それぞれの特色を活かした事業と、共通の事業のバランスが大切である。この点を考慮しながら今後の事業を展開しえていただきたい。 ・図書館職員が一般的な質問に加え日光市の歴史や文化のエキスパートになり、引き続きあらゆる質問に対応できるような体制を整えていていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・図書館資料の選定について、図書館の所蔵資料全体を分析し、図書館本来の目的に沿って、蔵書管理等の業務の改善を図りながらすすめるよう指導する。 ・施設管理については、緊急時の体制、連絡について、市の指示により対応する場面が発生したため、職員は共通の危機管理意識を持つよう徹底する。	教育委員会 生涯学習課
	13	斎場 日光聖苑	日光聖苑運営共同事業体 静祈	25. 4. 1～ 30. 3. 31			○			・全体的には市と相談しながら、適正な施設管理が行われた。 ・運営費について目標値より実績値が上回ったが、式場利用の増加による要素が大きく、この部分は指定管理者の努力で改善するのは難しいと思われる。 ・絶対にあってはならない火葬炉の失火を起こしてしまい、その際の利用者への対応に不手際があった点、またその原因となった機器の故障を毎日の点検で気が付かなかった点は大きなマイナス評価と考える。 【改善に向けた方策】 ・失火が起きないように、危機の修繕及び点検方法の改善を行う。 ・不足の事態が起きた際の連絡の徹底を指導する。 ・慣れた業務をもう一度見直すなど、業務への意識の改善を図るよう指導する。 ・利用者及び葬祭業者へ丁寧に対応するなど、接遇意識の再確認を行うよう指導する。	市民生活部 生活安全課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
日光地域	1	奥日光診療所	公益社団法人 地域医療振興協会	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			・日光市奥日光診療所条例に規定されている診療所の責務である「(1)健康保険法（大正11年法律第70号）その他の保険制度の趣旨に基づき、適正な診療を行うこと。(2)奥日光地区における保健施設の拠点として、公衆衛生の向上及び健康増進に寄与すること。」については、診療所の運営に必要な有資格者等を配置し、診療日数を確保して診療にあたるなど、協定書・仕様書等に基づき適正に実施されている。 【改善に向けた方策】 ・奥日光地区という地域特性に沿った施設管理や、観光客を含む初診患者等への適正な診療体制について、充実を図るよう指導する。	健康福祉部 健康課
	2	温泉保養センター ①日光温泉 ②やしおの湯	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・やしおの湯及び日光温泉について、収入は前年度を若干下回ったが、自主事業よるイベントや割引制度の実施により、利用者数は前年を上回る結果となった。 ・外部委託費の軽減を図るなど経費削減への取り組みは評価できる。 ・施設の管理についても衛生管理や危機管理に十分配慮した運営を行っていた 【改善に向けた方策】 ・新たな自主事業の実施や接遇の向上、市外への幅広い宣伝活動を行なう等、新規利用者及びリピーターの増加を図る取組を検討するよう助言する。	日光総合支所 観光課
	3	日光総合会館	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・経費節減を徹底しながらも、サービスを低下することなく、利用者の利便性を考慮した適正な施設の管理運営を行うことができた。 ・自主事業を実施するうえでは、地域とも連携しながら、市民や観光客が大いに楽しめる快適な場を提供するべく、企画・立案を願いたい。 【改善に向けた方策】 ・施設の設置目的の達成のため、地域の文化団体主催の発表会等を支援し、文化芸術の振興及び利用者を図るよう指導する。 ・営業並びに広報活動において施設をPRし、利用率を上げることで、収入増加を図るよう指導する。	日光総合支所 観光課
	4	市営駐車場 ①西参道第1駐車場 ②西参道第2駐車場 ③西参道第3駐車場 ④日光駅前駐車場	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・目標数値に対して駐車台数も利用料金も実績が及ばなかったが、利用率増加に向けての様々な努力は認められ、常に利用者ニーズに応じたサービス提供や、利便性と安全性を考慮した管理運営を実施している。 ・観光案内においては、観光情報の拠点として観光地日光をPRし、イメージアップにも貢献した。 ・苦情・要望に対しては、トラブル回避のため、今後も臨機応変に対応願いたい。 【改善に向けた方策】 ・常に環境美化を意識し、利用者増加を図るよう指導する。 ・広報並びに広報活動において施設をPRし、利用率を上げることで、収入増加を図るよう指導する。	日光総合支所 観光課
	5	神橋駐車場	公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館	21. 4. 1～ 31. 3. 31			○			・利用者へのサービス提供により利用促進を図る一方で、収支のバランスを鑑みながら駐車場を無料開放して、経費節減の徹底並びに地域活性化に貢献することができた。 ・収入が利用料金と東電賠償金のみであるが、支出を最小限に抑えながら効率的な駐車場の管理運営を行うことができた。 【改善に向けた方策】 ・さらなる利用実績の向上を目指し、柔軟な管理運営に努め、ホームページ上での周知や広報活動等を積極的に行い、収入増加を図るよう指導する。	日光総合支所 観光課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
日光地域	6	小杉放菴記念日光美術館	公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館	21. 4. 1～ 31. 3. 31		○				・美術館では、様々な事業を展開しており、これらは利用者に概ね好評である。 ・入館者数は、年々減少傾向にある。 【改善に向けた方策】 ・今後とも、専門性や芸術性を堅持しつつ、市民のニーズに合った企画を期待する。 ・入館者数は減少しているため、さらなるPRに努め入館者の増加を図るよう指導する。 ・市所有の美術品については、そのほとんどが美術館内の収蔵庫に収蔵されているので、今後も適切な管理に当たるよう指導する。	教育委員会 生涯学習課
	7	日光福祉保健センター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	23. 4. 1～ 28. 3. 31		○				・日光地域の高齢化率は38. 19%と高く、また利用者数も前年度より増加しており、高齢者に対する日光福祉保健センターの役割は、今後ますます高まると思われる。 ・施設の適切なニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めてもらいたい。 【改善に向けた方策】 ・施設のPRを強化するとともに、各種事業の周知を行い、利用率をさらに高めていけるよう指導する。	健康福祉部 高齢福祉課
	8	小来川デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	25. 4. 1～ 30. 3. 31			○			・当事業所は小来川地区における（介護予防）通所介護の拠点として平成20年11月に開所し、6年半が経過した。 ・地域包括ケアの一翼を担う事業所として、地域との連携を強化し、限られた社会資源を最大限に生かした生活支援体制を確立しながら利用者の拡充に努めてほしい。 【改善に向けた方向性】 ・平成26年度は平成25年度に比べ利用者数が減となっており、介護サービスを利用すべき状態であるもののサービスにつながっていないケースの解消や、見学会やお試しデイなどによる周知や交流を行うことで、新規利用者の拡充に努めるよう指導する。 ・平成27年度についてもアンケート調査を継続し、利用者や利用者家族のニーズを把握、分析していく必要があることを助言する。 ・地域住民と信頼関係をつくり、地域に開かれたデイサービスセンターとなるよう、積極的な交流活動を行うよう助言する。	健康福祉部 介護保険課
	9	小倉山森林公園	日光彫り体験教室運営協議会	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			・年間30, 772名の体験教室の利用のうち、児童生徒が28, 286名、393校の受け入れを行っている。 ・学生の利用については年々減少傾向ではあるが、リピーター率も高く、利用者アンケートでも高い満足度を得られている。 ・施設の運営等に関しては、経費の低減等について事務局員のチェック体制を図るなどの取組が見られたが、公園の除草や巡回など目標値を下回るものもあるため、期間を通した実施階数などを検討する必要がある。 【改善に向けた方策】 ・体験校以外の県内外の学校へ案内状を配布し、利用校拡大に努めるなど誘客活動を積極的に行うよう指導する。	日光総合支所 産業建設課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
日光地域	10	交流促進センター	日光温泉旅館協同組合	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			・食事メニューの改善や浴室をこまめに清掃する等こまやかなサービスを提供しており、利用者からは高い評価を得ている。 ・外部インターネット予約システムの活用により施設の認知度を高め県外からの利用者数を増加させたことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・色々な媒体を利用した広報・宣伝活動や、自主事業を実施する等、更なる集客増を図るような取組も検討するよう助言する。	日光総合支所 観光課
	11	日光郷土センター	一般社団法人 日光市観光協会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・経費削減の目標が設定されてなく、職員研修会の開催も少ない。 ・指定管理4年目での危機管理マニュアルの作成も遅い。 ・日光地域の観光案内所の施設拠点として、公の施設の管理者として、意識を高く持ち、サービス向上に努めてほしい。 【改善に向けた方策】 ・2階展示室等の活用を図るよう指導する。 ・自主財源の確保を検討するよう指導する。	日光総合支所 観光課
	12	中宮祠介護サービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	26. 4. 1～ 31. 3. 31	○					・当事業所は中宮祠地区における（介護予防）通所介護及び（介護予防）訪問介護の拠点として平成26年4月に現法人が事業を開始してから1年が経過した。 ・訪問介護については利用者拡充のため日光地域へも事業展開を行っており、中宮祠地区へのサービス提供を想定した当初の設置目的以上の成果が得られている。 【改善に向けた方策】 ・平成26年度は目標値との比較であったため、他事業所よりも高い評価となった。平成27年度以降も高い評価となるよう、利用者の拡充に努めるよう助言する。 ・平成27年度についてもアンケート調査を継続し、利用者や利用者家族のニーズを把握、分析をしていく必要がある。 ・地域住民との信頼関係をつくり、地域に開かれた事業所となるよう、積極的な交流活動を行うよう指導する。	健康福祉部 介護保険課
	13	日光運動公園 日光体育館 細尾ドームリンク	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			・努力は見られるので、マンネリ化を防ぐため初心に帰り、よりよい施設運営となるようにしてほしい。 【改善に向けた方策】 ・天候に左右される施設であるが、職員の創意工夫で対応できるものもあるので、職員間のコミュニケーションを図りながら、創意工夫を凝らし、よりよい施設運営を行うよう指導する。	日光足尾教育行政事務所
	14	日光霧降高原キスゲ平園地	一般財団法人 自然公園財団	25. 4. 1～ 28. 3. 31		○				・自然環境保護を専門とする職員を配置するなど良好な管理が図られている。 ・経費節減を徹底しながらも、サービスを低下することなく、広報活動やイベント等を企画し、キスゲシーズンの他にも新規利用者及びリピーターの利便性を考慮した適正な施設の管理運営を行うことができた。 ・今後も快適な場を提供するべく、企画・立案願いたい。 【改善に向けた方策】 ・スノーシューの利用者が増えてきていることから、広報活動を増やし冬期の誘客に努めるよう指導する。 ・登山ブームのなか、来年は「山の日」が施行され、登山者の増加も見込めるため、登山者を収益につなげる方策を図るよう指導する。 ・管理面では園内への鹿の侵入が見られたので、侵入防止柵の重視階数を増やすなど食害対策を図るよう指導する。	日光総合支所 観光課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
日光地域	15	霧降スケートセンター	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	26. 4. 1～ 31. 3. 31		○				・総体的に職員が細かい所に気を使っていることが、苦情等もなく施設の運営に寄与していると思われた。 ・利用人数の増加が問題である。 ・スケートの利用だけでは期間の限られた利用にしかならないのが現状である。 【改善に向けた方策】 ・スケート人口を増やすためには、スケート利用の他に、付加価値をつけるなどスケートの魅力拡大の方策が必要であるため、その旨を助言する。	日光足尾教育行政事務所
藤原地域	1	三依診療所	学校法人 獨協学園 獨協医科大学日光医療センター	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			・日光市三依診療所条例に規定されている診療所の責務「(1) 健康保険法（大正11年法律第70号）その他の保険制度の趣旨に基づき、適正な診療を行うこと。(2) 三依地区における保健施設の拠点として、公衆衛生の向上及び健康増進に寄与すること。」については、診療所の運営に必要な有資格者等を配置し、診療日数を確保して診療にあたり、地元との信頼関係も築かれるなど、協定書・仕様書等に基づき適正に実施されている。 【改善に向けた方策】 ・規定の診療日数を確保した上で、地域の実情に即したへき地診療の確保に努めるよう指導する。	健康福祉部 健康課
	2	藤原福祉センター ふじの郷	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			・藤原地域の高齢化率は36. 95%と高く、高齢者に対する藤原福祉センターの役割が、今後ますます高まると思われる。 ・施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めてもらいたい。 ・民間参入が難しい山間地へのサービスを、引き続き積極的に行ってもらいたい。 【改善に向けた方策】 ・地域福祉活動の拠点として、高齢者福祉だけでなく、地域の方々に当該施設を利用してもらえよう指導する。	健康福祉部 高齢福祉課
	3	ふるさと体験村（みよりふるさと体験村センター・キャンプ場）	中三依自治会	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			・宿泊された方の入浴や受付方法等、自治会全体の問題として検討し、改善してほしい。 【改善に向けた方策】 ・三依支所や地域おこし協力隊と協議し、より適正な施設運営にむけて努めるよう指導する。 ・野生鳥獣が出没する地域であることから、市担当課や駐在、消防団等と連携し安全な施設管理にあたるよう指導していく。	藤原総合支所 観光課
	4	川治温泉薬師の湯	一般社団法人 川治薬師の湯管理協会	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			・利用者の増加に繋がる各種取組みについて、市、コンサル、管理組合で検討し、実施できるものについては積極的に導入することができたが、総体的な経費節減や収入の増加に繋がらなかった。 【改善に向けた方策】 ・利用者の満足度を検証する上で、アンケート調査について実施するよう指導する。 ・利用者の増加に繋がる効果的な自主事業の導入や地域内の宿泊施設等と連携した宣伝、誘客を実施するよう指導する。	藤原総合支所 観光課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
藤 原 地 域	5	鬼怒川・川治温泉観光情報センター	一般社団法人 日光市観光協会	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			- 鬼怒川・川治温泉の最新情報を発信する施設として、職員の接遇や環境美化に気を配ることで、前年度より利用者が増加したことは評価できる。 【改善に向けた方策】 - 多くの観光客が来訪することから、アンケート調査について年間で複数回実施し、利用満足度や当地の観光全般についての意見を把握し、各事業への反映や施設管理に役立てるよう指導する。 - 近年海外からの観光客が増加しているので、外国版パンフレットの設置のほか、ホームページを含めより一層のインフォメーション機能を充実させるよう指導する。	藤原総合支所 観光課
	6	上三依水生植物園	有限会社 山加園	23. 4. 1～ 28. 3. 31		○				- 各種メディアを活用し宣伝に力を入れたことや、園内の細かな維持管理、自主事業に取り組んだことにより、前年を上回る集客、収入があったことは大きな評価といえる。 【改善に向けた方策】 - 全国的に各植物園で希少種を育成することによる集客を見込む傾向が強いことから、「ヒマラヤの青いケシ」1種に頼らず、施設全体としてブランド力が向上するような取組みを検討するよう指導する。	藤原総合支所 観光課
足 尾 地 域	1	足尾保健・高齢者生活福祉センター (銅やまなみ館)	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				- 足尾地域の高齢化率は50. 22%と他地域と比べても極めて高く、高齢者に対する当該施設の役割が今後一層高まると思われる。 - 施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めてもらいたい。 【改善に向けた方策】 - 利用者の声を管理運営に反映させるための取組を工夫するよう指導する。	健康福祉部 高齢福祉課
	2	赤倉集会所	赤倉自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			- 全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数こそ前年比より増加しているが、利用日数及び人数ともに目標値を下回っている。 【改善に向けた方策】 - 次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	3	南橋集会所	南橋自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			- 全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数及び利用人数が減少していることから利用増に努めていただきたい。 - 経費の低減が図られていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 - 次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	4	上間藤集会所	上間藤自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			- 全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数は目標値を達成しているが、利用人数が目標値に未達成かつ減少していることから、利用増に努めていただきたい。数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 - 次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	5	上の平集会所	上の平自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				- 全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数・利用人数ともに目標値を達成しているが、利用人数が前年比より減少していることから利用者増に努めていただきたい。 - 経費の低減が図られていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 - 次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
足 尾 地 域	6	下間藤集会所	下間藤自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用人数は前年比を上回っているが、利用日数・人数ともに目標値を達成していないことから、利用増に努めていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	7	田元集会所	田元自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数は目標値を達成しているが、利用人数が減少していることから利用増に努めていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	8	野路又集会所	野路又自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数は前年比を上回っているが、利用人数・日数とともに目標値を達成していないことから、利用増に努めていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	9	掛水集会所	掛水自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、適正な管理運営が実施されていた。利用人数・日数ともに目標は上回っているが、前年と比べるとわずかに減少しているため、改善に努め利用増を図っていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	10	内の籠集会所	内の籠自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数・人数ともに目標値に達成していないため、改善に努め利用増を図っていただきたい。 ・経費の低減が図られていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	11	向原集会所	向原自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数・人数ともに目標値を達成するよう改善に努めていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	12	赤沢集会所	赤沢自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数・人数とともに目標値に達成していないため、改善に努め利用増を図っていただきたい。 ・経費の低減が図られていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	13	松原集会所	松原自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31	○					・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数が目標値に達していないため改善に努め利用増を図っていただきたい。 ・経費の低減が図れていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
足 尾 地 域	14	通洞集会所	通洞自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数及び人数が前年より下回っているため改善に努め利用増を図っていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	15	砂畑集会所	砂畑自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用人数が目標値に達していないため改善に努め利用増を図っていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	16	中才集会所	中才自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数が目標値に達していないため改善に努め利用増を図っていただきたい。 ・経費の低減が図られていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	17	原集会所	原自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用人数は前年より大幅に上回ったが、目標値を達成するよう改善に努めていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	18	唐風呂集会所	唐風呂自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数・人数とともに目標値を達成するよう改善に努めていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	19	餅ヶ瀬集会所	餅ヶ瀬自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数及び利用日数が目標値を達成するよう改善に努めていただきたい。 ・経費の低減が図られていたことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	20	足尾南部生活改善センター	中才自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数は目標値を達成しているが、利用人数も目標値を達成するよう改善に努めていただきたい。 【改善に向けた方向性】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	21	足尾東部生活改善センター	神子内自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数は前年を上回っているが、利用日数・人数ともに目標値には達していないことから、利用増に努めていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
足尾地域	22	切幹林業活動促進センター	切幹自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数及び利用人数ともに目標値を達成するよう改善に努めていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	23	遠下林業活動促進センター	遠下自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。利用日数及び利用人数ともに目標値を達成するよう改善に努めていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	足尾総合支所 総務課
	24	足尾環境学習センター	特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・入館者数が毎年減少気味であるが、平成26年5月に天皇陛下のご来訪もあり、前年比を見ても減少は少なくなり、12月には東京で開催されたイベントに参加し、施設等のPRを行っている。 ・今後も設置目的の「銅山の歴史を紹介するとともに、自然の大切さと環境問題を学べる施設」として、入館者増のため更なる工夫を期待する。 【改善に向けた方策】 ・施設全体に老朽化が目立ち、平成26年度は行楽啓事業に伴い若干の施設改修ができたが、まだ整備されていない箇所について、今後指定管理者と協議して改善していく。	足尾総合支所 観光課
栗山地域	1	川俣温泉集会所	川俣温泉自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	2	川俣集会所	川俣自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	3	野門集会所	野門自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数が少ないので、利用日数を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	4	若間集会所	若間自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	5	上栗山集会所	上栗山自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
栗 山 地 域	6	黒部集会所	黒部自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	7	土呂部集会所	土呂部自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	8	青柳平集会所	青柳平自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	9	日蔭集会所	日蔭自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	10	日向集会所	野尻自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	11	大王集会所	大王自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	12	小穴集会所	野尻自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	13	戸中集会所	戸中自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	14	小指集会所	戸中自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
栗 山 地 域	15	西川集会所	西川自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	16	湯西川上集会所	湯西川上自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	17	湯西川下地区集会所	湯西川下地区自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させる方策を考えるなどの努力が必要である。 【改善に向けた方策】 ・次年度以降は指定管理者制度から直営方式とする。	栗山総合支所 総務課
	18	土呂部キャンプ場	土呂部キャンプ場管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・自主事業等の実施などによる誘客方策及び経費節減を努めていただく。 ・市や観光協会が実施する宣伝等に参加し誘客に努めていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・利用者の満足度調査を実施し、改善に向けた方策を検討するよう助言する。	栗山総合支所 観光課
	19	上栗山オートキャンプ場	上栗山開運の里管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・新規事業等の実施や、市や観光協会が実施する宣伝等に参加し誘客に努めていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・アンケート結果をもとに、改善方策を検討するよう助言する。	栗山総合支所 観光課
	20	平家の里	平家の里湯西川協同組合	18. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・概ね適正に運営がなされているが、今後も誘客推進やコスト削減に取り組んでいただく。 【改善に向けた方策】 ・アンケートを実施し、結果をもとに改善方策を検討するよう助言する。	栗山総合支所 観光課
	21	川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	川俣湖温泉ふれあいの里管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・自主事業の実施など誘客対策を行うとともに、経費の削減にも努める。 【改善に向けた方策】 ・観光客の入込数に左右されやすいため、リピーターの確保等誘客対策を行うよう指導する。	栗山総合支所 観光課
	22	上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	上栗山開運の里管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・新規事業の検討や、市や観光協会が実施する宣伝等に参加し、誘客対策に努める。 【改善に向けた方策】 ・アンケートを実施し、結果をもとに改善方策を検討するよう助言する。	栗山総合支所 観光課
	23	湯の郷湯西川観光センター	株式会社 湯の郷	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・概ね適正に運営がなされているが、今後も誘客推進やコスト削減に取り組んでいただく。 【改善に向けた方策】 ・アンケートを実施し、結果をもとに改善方策を検討するよう助言する。	栗山総合支所 観光課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H26)
					A	B	C	D	E		
栗 山 地 域	24	自然体験交流センター 「安らぎの森 四季」	安ヶ森管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・観光宿泊数は地域全体で戻りつつあるが、近隣で格安宿泊施設が増加しているため、ニーズにあった方のみの施設利用となるため、施設運営は厳しい状況であるが、引き続きPRを行い誘客につなげていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・恵まれた自然環境に触れる場として、施設管理及び広大な敷地を有効活用した自然体験事業を計画し、利用者の増員に努めるよう指導する。	栗山総合支所 産業建設課
	25	栗山デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	25. 4. 1～ 30. 3. 31			○			・地域包括ケアの一翼を担う事業所として、地域との連携を強化し、限られた社会資源を最大限に生かした生活支援体制を確立しながら、利用者の拡充に努めてほしい。 【改善に向けた方策】 ・平成26年度は平成25年度に比べ利用者数が減となっており、介護サービスを利用すべき状態であるもののサービス利用につながっていないケースの解消に努めるよう助言する。 ・平成27年度についてもアンケート調査を継続し、利用者や利用者家族のニーズを把握、分析をしていく必要があることを指導する。	健康福祉部 介護保険課
	26	西川デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	25. 4. 1～ 30. 3. 31			○			・平成26年度は平成25年度に比べ利用者数が増となっており、西川地区だけでなく三依地区からの利用者が増えていることが要因と考える。 【改善に向けた方策】 ・平成27年度については、平成26年度と同様の取り組みを行うだけでも適正な管理であると評価できるが、ボランティア受け入れにより地域との交流をさらに深めるなど、地域の福祉・介護の拠点としてより高い意識を持った事業所に進歩していくよう助言する。	健康福祉部 介護保険課
	27	湯西川水の郷	株式会社 湯西川水の郷	23. 7. 1～ 27. 3. 31			○			・経費の低減、収入の増加について計画どおり実施されているため、引き続き維持管理費等コスト削減に努めていただきたい。 ・市や観光協会が実施する宣伝等に参加し、誘客対策に努めていただきたい。 【改善に向けた方策】 ・アンケートを実施し、結果をもとに改善方策を検討するよう指導する。	栗山総合支所 観光課
	28	西川運動場	株式会社 湯の郷、湯西川温泉旅館組合事業 共同体	25. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・年々利用者数が増えてきているのは、指定管理者の企業努力によるものであり大変評価できる。 ・今後も施設のPRはもとより、利用者が満足できる施設となるよう取り組んでいただきたい。 【改善に向けた方策】 ・地域の観光産業と更なる連携をはかり、旅館、ホテル等の宿泊数増も見込めるイベントの企画、運営を図るよう助言する。 ・冬季の誘客を図るため、雪を利用したイベントの企画も検討するよう助言する。	藤原栗山 教育行政事務所